

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団

目 次

I	事業報告	1
II	附属明細書	11
1	友愛のさと診療所・療育センター	12
2	子どものこころの診療所	15
3	相談支援事業所「シグナル」	18
4	発達相談支援センター「ルピロ」	20
5	児童発達支援センター「ひまわり」	22
6	浜松市発達支援広場事業・保育所等巡回支援事業	27
7	児童発達支援事業所「ひまわり ひくまの丘」	28
8	児童発達支援事業所「ひまわり こころん」	30
9	生活介護・就労継続支援施設「かがやき」	32
10	就労継続支援施設「はばたき」	34
11	障害者生活介護施設「ふれんず」	35
12	地域活動支援センター「オルゴール」	36
13	身体障害者福祉センター	37
14	障害者体育館・プール	37
15	法人組織・職員構成	38

I 事業報告

1 令和元年度 事業の概況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

【指定管理事業(延べ利用人数)】

項 目	単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比	
友愛のさと診療所 ※訪問含む	人	37,063	39,346	39,200	41,585	105.7%	
医療型特定短期入所	人	268	285	290	223	78.2%	
療育センター	人	3,648	2,928	3,400	3,210	109.6%	
子どものこころの診療所	人	25,281	27,160	26,100	26,297	96.8%	
相談支援事業所「シグナル」	人	19,645	22,105	20,227	23,439	106.0%	
児童発達支援センター ひまわり	重心	人	2,161	1,645	1,840	2,258	137.3%
	重心以外	人	14,393	13,549	13,960	14,174	104.6%
	親子通園	人	4,310	4,381	4,300	4,590	104.8%
	保育所等訪問	人	293	336	340	329	97.9%
	居宅訪問支援	人	—	23	110	42	182.6%
生活介護・就労継続支援施設 「かがやき」	生活介護	人	11,226	10,876	11,300	10,973	100.9%
	就労継続	人	2,248	2,060	2,200	1,854	90.0%
就労継続支援施設「はばたき」	人	5,357	5,308	5,300	5,132	96.7%	
障害者生活介護施設「ふれんず」	人	5,155	4,832	5,000	5,008	103.6%	
身体障害者福祉センター	人	2,288	1,928	2,653	1,940	100.6%	
障害者体育館・プール	人	22,157	18,331	22,300	18,304	99.9%	
福祉バス	人	2,200	2,306	2,200	1,808	78.4%	
合 計	人	157,693	157,399	160,720	161,166	102.4%	

【受託事業、自主事業】

項 目	単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比		
地域活動支援センター「オルゴール」	延べ人数	人	3,549	3,585	3,600	3,072	85.7%	
浜松市発達支援広場 (中区)	延べ組数	組	623	716	800	574	80.2%	
浜松市発達支援広場 (浜北区・天竜区)	延べ組数	組	669	733	800	544	74.2%	
浜松市発達支援広場 (施設型)	延べ組数	組	795	816	800	653	80.0%	
浜松市保育所等巡回支援事業	延べ件数	件	238	312	300	384	123.1%	
浜松市家庭訪問支援事業	延べ人数	人	12	12	12	12	100.0%	
発達相談支援センター「ルビロ」	延べ件数	件	6,334	5,976	5,947	6,261	104.8%	
難病患者等リフレッシュ事業	延べ人数	人	71	48	50	34	70.8%	
小中学校訪問看護事業	延べ人数	人	—	61	202	175	286.9%	
ひまわりひくまの丘	親子通園	延べ人数	人	2,526	2,651	2,500	2,463	92.9%
	保育所等訪問	延べ人数	人	72	95	75	96	101.1%
ひまわりこころん ※H29.8開所	毎日通園	延べ人数	人	1,211	1,955	2,150	2,199	112.5%
	保育所等訪問	延べ人数	人	1	12	10	9	75.0%
合 計	人	16,101	16,972	17,246	16,476	97.1%		

2 事業実績及び収支状況

【1】指定管理事業（医療部門）

【対象施設】：友愛のさと診療所、子どものこころの診療所

医療部門では、延べ診察人数が 67,882 人となり、計画(計画比 104.0%)及び前年度(前年度比 102.1%)を上回りました。

延べ診察人数の増加に伴い、利用料金収入も 460,685 千円と計画(計画比 103.0%)及び前年度(前年度比 101.5%)を上回りました。

表 1 延べ診察人数の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		60,918人	62,344人	66,506人	65,300人	67,882人	***
対前年 比較	増減	5,917人	1,426人	4,162人	△1,206人	1,376人	2,582人
	比率	110.6%	102.3%	106.7%	98.2%	102.1%	104.0%

表 2 利用料金収入の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		415,657千円	421,884千円	453,969千円	447,415千円	460,685千円	***
対前年 比較	増減	82,944千円	6,227千円	32,085千円	△6,554千円	6,716千円	13,270千円
	比率	124.9%	101.5%	107.6%	98.6%	101.5%	103.0%

【2】指定管理事業（療育・福祉部門）

【対象施設】：ひまわり、かがやき、ふれんず、はばたき、友愛のさと診療所(医療型特定短期入所)、シグナル、療育センター、身体障害者福祉センター、障害者体育館・プール、福祉バス

療育・福祉部門では、施設部門での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業の一部休止等もあり、延べ利用者数は 93,284 人と計画(計画比 97.8%)をやや下回りましたが、前年度(前年度比 102.6%)は上回りました。

「相談支援事業所シグナル」の計画相談件数の増加や「児童発達支援センターひまわり」の利用率が高かったこと等により、利用料金収入は 583,349 千円と計画(計画比 102.6%)及び前年度(前年度比 107.3%)を上回りました。

表 3 延べ利用者数の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		92,985人	95,349人	90,893人	95,420人	93,284人	***
対前年 比較	増減	5,922人	2,364人	△4,456人	4,527人	2,391人	△2,136人
	比率	106.8%	102.5%	95.3%	105.0%	102.6%	97.8%

表 4 利用料金収入の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		519,710千円	538,813千円	543,819千円	568,315千円	583,349千円	***
対前年 比較	増減	28,836千円	19,103千円	5,006千円	24,496千円	39,530千円	15,034千円
	比率	105.9%	103.7%	100.9%	104.5%	107.3%	102.6%

【3】受託事業・自主事業

受託事業：浜松市発達支援広場事業(ひまわり)、浜松市地域活動支援センターⅡ型事業(オルゴール)、
浜松市発達障害者支援センター運営事業(ルピロ)など
自主事業：児童発達支援事業所(ひまわり ひくまの丘、ひまわり こころん)

受託事業として、浜松市発達支援広場事業や浜松市発達障害者支援センター運営事業(ルピロ)などを、また、自主事業として、児童発達支援事業所(ひまわり ひくまの丘、ひまわり こころん)を実施しました。

延べ利用者数は16,476人と計画(計画比95.5%)及び前年度(前年度比97.1%)ともに下回りました。

収入は令和元年度に見込んでいた小中学校訪問看護事業が11月より開始され、浜松市からの委託料が増加したことにより前年度(前年度比105.9%)を上回りました。

表 5 受託事業・自主事業の延べ利用者数の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		14,020人	16,101人	16,972人	17,246人	16,476人	***
対前年 比較	増減	2,374人	2,081人	871人	274人	△496人	△770人
	比率	120.4%	114.8%	105.4%	101.6%	97.1%	95.5%

表 6 受託事業・自主事業の収入の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		136,598千円	156,596千円	188,405千円	201,357千円	199,608千円	***
対前年 比較	増減	19,924千円	19,998千円	31,809千円	12,952千円	11,203千円	△1,749千円
	比率	117.1%	114.6%	120.3%	106.9%	105.9%	99.1%

【4】資金収支状況

(1) 利用料金収入

医療事業収入や障害福祉サービス等事業収入からなっている利用料金収入は、1,044,033 千円と計画(計画比 102.8%)、前年度(前年度比 104.6%)ともに上回りました。

表 7 利用料金収入の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		935,367千円	960,697千円	997,788千円	1,015,730千円	1,044,033千円	***
対前年 比較	増減	111,780千円	25,330千円	37,091千円	17,942千円	46,245千円	28,303千円
	比率	113.6%	102.7%	103.9%	101.8%	104.6%	102.8%

(2) 指定管理料

令和元年度は、242,046 千円となりました。

表 8 指定管理料の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績		198,585千円	0千円	147,000千円	242,046千円
対前年 比較	増減	△39,725千円	△198,585千円	147,000千円	95,046千円
	比率	85.3%	***	***	164.7%

(3) 資金収支状況

事業活動資金収支差額は、47,146 千円となりました。

表 9 事業活動資金収支差額の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 計画	令和元年度	対計画比較
実績		33,820千円	△161,777千円	△72,835千円	39,589千円	47,146千円	***
対前年 比較	増減	5,397千円	△195,597千円	88,942千円	112,424千円	119,981千円	7,557千円

(4) 内部留保

令和元年度は 378,673 千円となり、前年度より微増(前年度比 100.3%)となりました。

表 10 内部留保額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
施設設備等 整備積立金	199,955千円	50,000千円	50,000千円	50,000千円	
財政調整 積立金	254,731千円	210,419千円	139,355千円	131,951千円	
次期繰越活動 増減差額	204,122千円	212,285千円	188,305千円	196,722千円	
計 (内部留保額)	658,808千円	472,704千円	377,660千円	378,673千円	
対前年 比較	増減	34,109千円	△186,104千円	△95,044千円	1,013千円
	比率	105.5%	71.8%	79.9%	100.3%

表 11 資金収支の推移

【計画】

(単位：千円)

		平成28年度 予算	平成29年度 予算	平成30年度 予算	令和元年度 予算	
事業活動 による収支	収入	指定管理料収入	198,585	0	147,000	240,470
		利用料金収入	827,308	957,271	1,008,004	1,015,730
		受託事業・自主事業収入	134,485	159,808	183,850	201,357
		その他収入	13,361	13,016	13,076	10,320
		事業活動収入計	1,173,739	1,130,095	1,351,930	1,467,877
	支出	人件費支出	979,518	1,009,266	1,073,069	1,084,655
		事業費支出	129,900	140,432	193,564	176,351
		事務費支出	149,831	159,729	168,643	167,282
		事業活動支出計	1,259,249	1,309,427	1,435,276	1,428,288
		事業活動資金収支差額(1)	△85,510	△179,332	△83,346	39,589
その他 収支	施設整備等収支差額(2)	0	△23,968	△6,983	△22,519	
	退職給付引当資産収支差額(3)	△8,066	△29,991	△19,364	△20,817	
	その他積立資産等収支差額(4)	93,576	233,291	109,693	3,747	
	その他の活動による収支差額(5)	0	0	0	0	
当期資金収支差額計(6)=(1)+(2)+(3)+(4)+(5)		0	0	0	0	
前期末支払資金残高(7)		148,369	212,670	231,364	227,647	
当期末支払資金残高(8)=(6)+(7)		148,369	212,670	231,364	227,647	

【実績】

(単位：千円)

		平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	
事業活動 による収支	収入	指定管理料収入	198,585	0	147,000	242,046
		利用料金収入	935,367	960,697	997,788	1,044,033
		受託事業・自主事業収入	136,598	156,596	188,405	199,608
		その他収入	18,750	18,745	15,096	12,116
		事業活動収入計	1,289,300	1,136,038	1,348,289	1,497,803
	支出	人件費支出	997,381	1,038,050	1,090,907	1,120,211
		事業費支出	116,321	114,714	179,962	167,443
		事務費支出	141,778	145,051	150,255	163,003
		事業活動支出計	1,255,480	1,297,815	1,421,124	1,450,657
		事業活動資金収支差額(1)	33,820	△161,777	△72,835	47,146
その他 収支	施設整備等収支差額(2)	△6,998	△22,406	△7,426	△23,834	
	退職給付引当資産収支差額(3)	△2,544	△13,556	418	△20,005	
	その他積立資産等収支差額(4)	△5,418	194,267	71,064	7,404	
	その他の活動による収支差額(5)	△172	△267	127	1	
当期資金収支差額計(6)=(1)+(2)+(3)+(4)+(5)		18,688	△3,739	△8,652	10,712	
前期末支払資金残高(7)		212,685	231,373	227,634	218,983	
当期末支払資金残高(8)=(6)+(7)		231,373	227,634	218,982	229,695	

【実績-計画】

(単位：千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業活動 による収支	収入	指定管理料収入	0	0	0	1,576
		利用料金収入	108,059	3,426	△10,216	28,303
		受託事業・自主事業収入	2,113	△3,212	4,555	△1,749
		その他収入	5,389	5,729	2,020	1,796
		事業活動収入計	115,561	5,943	△3,641	29,926
	支出	人件費支出	17,863	28,784	17,838	35,556
		事業費支出	△13,579	△25,718	△13,602	△8,908
		事務費支出	△8,053	△14,678	△18,388	△4,279
		事業活動支出計	△3,769	△11,612	△14,152	22,369
		事業活動資金収支差額(1)	119,330	17,555	10,511	7,557
その他 収支	施設整備等収支差額(2)	△6,998	1,562	△443	△1,315	
	退職給付引当資産収支差額(3)	5,522	16,435	19,782	812	
	その他積立資産等収支差額(4)	△98,994	△39,024	△38,629	3,657	
	その他の活動による収支差額(5)	△172	△267	127	1	
当期資金収支差額計(6)=(1)+(2)+(3)+(4)+(5)		18,688	△3,739	△8,652	10,712	
前期末支払資金残高(7)		64,316	83,004	79,265	70,613	
当期末支払資金残高(8)=(6)+(7)		83,004	79,265	70,613	81,325	

3 理事会・評議員会・監査の開催状況

【1】理事会・評議員会

区 分	開催年月日	出席者数	議 事 内 容
(1) 理事会	第1回 令和元年5月29日(水) 場所：浜松市発達医療 総合福祉センター 文化棟 ホール	理事 6人 監事 1人 〈欠席〉 理事 1人 監事 1人	決議事項 1 平成30年度事業報告及び決算の承認の件 ※監査報告(監事) 2 理事候補者7名選定の件 3 監事候補者2名選定の件 4 平成31年度定時評議員会の招集の決定の件
	第2回 令和元年6月20日(木)	理事 7人 監事 2人 ※決議の省略	決議事項 1 理事長1名選定の件
	第3回 令和2年3月18日(水) 場所：浜松市役所 第4委員会室	理事 6人 監事 2人 〈欠席〉 理事 1人	決議事項 1 経理規程等の一部改正の件 2 職員給与規程等の一部改正の件 3 職員就業規程等の一部改正の件 4 準職員就業規程の一部改正の件 5 臨時職員就業規程の一部改正の件 6 組織規程の一部改正の件 7 決裁規程の一部改正の件 8 令和元年度資金収支補正予算(案)の同意の件 9 令和2年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の同意の件 10 施設長等の任命の件 11 令和元年度第1回臨時評議員会の招集の件
	第4回 令和2年3月30日(月)	理事 7人 監事 2人 ※決議の省略	決議事項 1 理事(補欠理事)候補者1名選定の件 2 評議員(補欠評議員)候補者2名選定の件 3 令和2年度第1回臨時評議員会の招集の件 4 令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の招集の件

区 分	開催年月日	出席者数	議 事 内 容
(2) 評議員会	定時評議員会 令和元年6月20日(木) 場所：浜松市発達医療 総合福祉センター 文化棟 ホール	評議員 8人 監事 1人 <欠席> 評議員 1人 監事 1人	報告事項 1 平成30年度事業報告 決議事項 1 平成30年度決算の承認の件 ※監査報告(監事) 2 理事7名選任の件 3 監事2名選任の件
	第1回臨時評議員会 令和2年3月26日(木) 場所：浜松市役所 第4委員会室	評議員 7人 監事 2人 <欠席> 評議員 2人	決議事項 1 令和元年度資金収支補正予算(案)の承認の件 2 令和2年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の承認の件

【2】 監査

区 分	実施年月日	監査人	監 査 内 容
(1)決算監査	令和元年5月20日(月)	監事 2人	平成30年度決算監査(会計及び業務監査)
(2)中間監査	令和元年11月22日(金)	監事 2人	令和元年度中間監査

Ⅱ 付属明細書

【 1 】 友愛のさと診療所・療育センター

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比	
新 患 実 人 数		人	732	826	870	689	83.4%	
診 療 科 別	精 神 科	診 療 実 日 数	日	244	244	240	240	98.4%
		診 療 延 べ 人 数	人	19,139	21,485	20,800	22,633	105.3%
		1 日 平 均	人	78.4	88.1	86.7	94.3	107.1%
	小 児 科	診 療 実 日 数	日	244	244	240	240	98.4%
		診 療 延 べ 人 数	人	17,052	16,916	17,500	17,998	106.4%
		1 日 平 均	人	69.9	69.3	72.9	75.0	108.2%
	整 形 外 科	診 療 実 日 数	日	22	23	24	24	104.3%
		診 療 延 べ 人 数	人	345	376	380	375	99.7%
		1 日 平 均	人	15.7	16.3	15.8	15.6	95.6%
	耳 鼻 咽 喉 科	診 療 実 日 数	日	21	23	24	24	104.3%
		診 療 延 べ 人 数	人	118	135	120	152	112.6%
		1 日 平 均	人	5.6	5.9	5.0	6.3	107.9%
	眼 科	診 療 実 日 数	日	40	39	40	39	100.0%
		診 療 延 べ 人 数	人	409	434	400	427	98.4%
		1 日 平 均	人	10.2	11.1	10.0	10.9	98.4%
合 計		診 療 延 べ 人 数	人	37,063	39,346	39,200	41,585	105.7%
利 用 料 金 (医 業 収 入)		円	236,927,610	257,602,441	255,580,000	277,208,676	107.6%	
1 人 あ た り の 平 均 単 価		円	6,393	6,547	6,520	6,666	101.8%	

投 薬	処 方 箋 に よ る 調 剤	院 内 枚	68	48	120	35	72.9%
		院 外 枚	8,159	9,331	8,600	10,018	107.4%
合 計		処 方 枚 数	8,227	9,379	8,720	10,053	107.2%

各 種 検 査	X 線 検 査	延 べ 件 数	件	111	137	100	134	97.8%
	脳 波 検 査	延 べ 件 数	件	107	95	100	88	92.6%
	聴 性 脳 幹 反 応 検 査	延 べ 件 数	件	9	11	10	1	9.1%
	聴 力 検 査	延 べ 件 数	件	48	50	48	49	98.0%
	言 語 発 達 検 査	延 べ 件 数	件	115	121	160	163	134.7%
	腹 部 超 音 波 検 査	延 べ 件 数	件	2	4	5	8	200.0%
	血 液 検 査	延 べ 件 数	件	191	163	190	155	95.1%
	尿 検 査	延 べ 件 数	件	27	40	30	48	120.0%
合 計			件	610	621	643	646	104.0%

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比	
集 団 指 導	早 期 支 援 グ ル ー プ	実 施 回 数	回	89	60	48	70	116.7%
		延 べ 人 数	人	407	287	150	299	104.2%
		1 回 平 均	人	4.6	4.8	3.1	4.3	89.6%
心 理 支 援 グ ル ー プ	実 施 回 数	回	111	102	94	99	97.1%	
	延 べ 人 数	人	643	635	660	596	93.9%	
	1 回 平 均	人	5.8	6.2	7.0	6.0	96.8%	
ピ ア ク ラ ブ	実 施 回 数	回	41	40	33	41	102.5%	
	延 べ 人 数	人	386	220	200	218	99.1%	
	1 回 平 均	人	9.4	5.5	6.1	5.3	96.4%	
学 童 期 吃 音 児 へ の 小 集 団 支 援	実 施 回 数	回	6	6	5	5	83.3%	
	延 べ 人 数	人	41	42	35	33	78.6%	
	1 回 平 均	人	6.8	7.0	7.0	6.6	94.3%	
合 計		延 べ 人 数	人	1,477	1,184	1,045	1,146	96.8%

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比		
個別指導	理学療法	訓練実日数	日	244	244	240	240	98.4%	
		延べ人数	人	4,409	4,576	3,900	4,718	103.1%	
		1日平均	人	18.1	18.8	16.3	19.7	104.8%	
	作業療法	訓練実日数	日	244	244	240	240	98.4%	
		延べ人数	人	3,864	3,704	3,000	3,694	99.7%	
		1日平均	人	15.8	15.2	12.5	15.4	101.3%	
	言語聴覚療法	訓練実日数	日	244	244	240	240	98.4%	
		延べ人数	人	3,083	2,905	3,200	3,284	113.0%	
		1日平均	人	12.6	11.9	13.3	13.7	115.1%	
	視能訓練	訓練実日数	日	223	230	230	223	97.0%	
		延べ人数	人	748	732	740	718	98.1%	
		1日平均	人	3.4	3.2	3.2	3.2	100.0%	
	臨床心理	訓練実日数	日	244	244	240	240	98.4%	
		延べ人数	人	8,773	9,686	9,300	10,293	106.3%	
		1日平均	人	36.0	39.7	38.8	42.9	108.1%	
	合 計		延べ人数	人	20,877	21,603	20,140	22,707	105.1%

【医療型特定短期入所事業(一時預り)】

平成26年4月事業開始 【根拠法令等:障害者総合支援法第5条8項】

利 用 定 員	1日2名
主 たる 対 象	医療的ケアの必要な重症心身障害児
サ ー ビ ス 提 供 日	月曜日から金曜日(友愛のさと診療所開業日)
サ ー ビ ス 提 供 時 間	9:00~17:00

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
医療型特定短期入所 (いちごショート)	開所日数	日	244	244	240	240	98.4%
	延べ人数	人	268	285	290	223	78.2%
	1日平均	人	1.1	1.2	1.2	0.9	77.1%
	利用料金	円	7,733,841	9,194,364	8,932,000	6,725,072	73.1%

【訪問事業】

※平成27年10月事業開始

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比	
訪問事業	訪問診療	事業日数	日	244	244	240	240	98.4%
		延べ人数	人	258	299	290	286	95.7%
		1日平均	人	1.1	1.2	1.2	1.2	100.0%
	訪問看護	事業日数	日	244	244	240	240	98.4%
		延べ人数	人	153	123	170	24	19.5%
		1日平均	人	0.6	0.5	0.7	0.1	20.0%
	訪問リハビリテーション	事業日数	日	244	244	240	240	98.4%
		延べ人数	人	534	679	640	747	110.0%
		1日平均	人	2.2	2.8	2.7	3.1	111.8%
	利 用 料 金		人	10,804,800	12,884,745	12,540,000	13,610,288	105.6%

【委託事業】

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
難病患者等介護家族 リフレッシュ事業	就学	延べ人数	57	41	40	32	78.0%
	在宅	延べ人数	14	7	10	2	28.6%
新規 小中学校訪問看護業務		延べ人数	-	58	202	175	301.7%

新患者数は689人と前年度(前年度比83.4%)より減少したが、新患者の待機期間は、約8～9ヶ月と前年度よりも長くなった。再診を含めた延べ人数は、精神科で前年度比105.3%、小児科は106.4%と増加している。

年齢別内訳は、2歳、3歳にピークがあり、0歳から9歳までで全体の約80%を占めた。地域別内訳では、浜北区と東区の割合が高く、全体の48%を占めた。疾患別では、前年度と同様に自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害で全体の約60%を占めた。

個別指導では、理学療法は前年度比103.1%、言語聴覚療法は前年度比113.0%、臨床心理は前年度比106.3%と増加している。作業療法は前年度比99.7%と同程度になっているが、一日平均の人数は増加した。

医療型特定短期入所事業は、職員配置の関係で前年度比78.2%と減少した。訪問事業にて、訪問リハビリテーションの延べ人数は前年比110.0%と上回っているが、訪問診療は前年度比95.7%と減少した。訪問看護は、一件当たりの提供時間が長い「難病患者等介護家族リフレッシュ事業」による看護師派遣の影響と浜松市から受託をした小中学校訪問看護業務の訪問日数及び対象者が増加(前年度比301.7%)したことにより、前年度比19.5%となった。

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比	
障害児等療育支援事業	教育機関への支援 ※教育委員会との発達教育研修を含む	個別	延べ人数	131	93	140	107	115.1%
		集団	実施回数	13	13	14	15	115.4%
	延べ人数		300	178	180	138	77.5%	
	特別支援学校への支援	個別	延べ人数	32	34	40	31	91.2%
療育推進事業	親子交流あそび広場 (うずらちゃん広場)	開催回数	41	41	41	38	92.7%	
		延べ人数	1,934	1,402	1,840	1,231	87.8%	
	おもちゃ貸出	延べ人数	532	435	500	425	97.7%	
	プレイポート開放	延べ人数	610	685	600	1,155	168.6%	
	うずらちゃん広場個別相談	延べ人数	109	101	100	123	121.8%	
合計		延べ人数	3,648	2,928	3,400	3,210	109.6%	

親子交流あそび広場(うずらちゃん広場)は、地域の保健師や利用家族からの紹介があったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月の開催を中止した影響もあり、延べ人数は減少したが、個別相談は前年度に比べ増加した。教育機関への個別支援の延べ人数は、保育所等訪問支援の利用が多く前年度より増加した。教育機関の集団支援の延べ人数は、教育委員会主催の発達教育研修での募集人数の調整があり、前年度より減少した。

【 2 】 子どものこころの診療所

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比		
新 患 患 者 数		人	824	790	390	604	76.5%		
インタビュー面接を行った新患件数		件	663	636	—	432	67.9%		
精 神 科	診療実日数	日	244	244	240	240	98.4%		
	診療延べ人数	人	25,281	27,160	26,100	26,297	96.8%		
	1日平均	人	103.6	111.3	108.8	109.6	98.5%		
利用料金（医療事業収入）		円	184,956,272	196,366,625	191,835,000	183,476,551	93.4%		
1人あたりの平均単価		円	7,316	7,230	7,350	6,977	96.5%		
投 薬	処方箋による調剤	院 内	枚	0	0	0	0	—	
		院 外	枚	14,724	15,517	13,770	15,328	98.8%	
合 計		処方枚数	枚	14,724	15,517	13,770	15,328	98.8%	
個 別 指 導	言 語 聴 覚 療 法	訓練実日数	日	244	244	240	240	98.4%	
		延べ人数	人	2,812	3,332	3,930	4,171	125.2%	
		1日平均	人	11.5	13.7	16.4	17.4	127.0%	
	臨 床 心 理	訓練実日数	日	244	244	240	240	98.4%	
		延べ人数	人	4,737	4,730	4,920	4,488	94.9%	
		1日平均	人	19.4	19.4	20.5	18.7	96.4%	
集 団 指 導	ベアレントトレーニング等	集団形式	実施回数	回	93	102	123	47	46.1%
			延べ人数	人	361	415	490	150	36.1%
			1回平均	人	3.9	4.1	4.0	3.2	78.0%
	修了後フォロー子どもグループ	個別形式	延べ人数	人	278	243	245	249	102.5%
			実施回数	回	0	0	—	0	—
			延べ人数	人	0	0	—	0	—
			1回平均	人	0.0	0.0	—	0.0	—
	インタビュー面接		件	740	723	320	478	66.1%	

前年度末で非常勤医師が3名退職し、新患枠を使って引継ぎ診察を行ったことにより新患患者数604人と前年度に比べ減少した。医療事業収入1人あたりの平均単価減少の主な要因は、児童思春期精神科専門管理加算の算定要件を適用できる患者が相対的に減ったことによるものである。新患患者の待期間間は、約5～6か月となった。

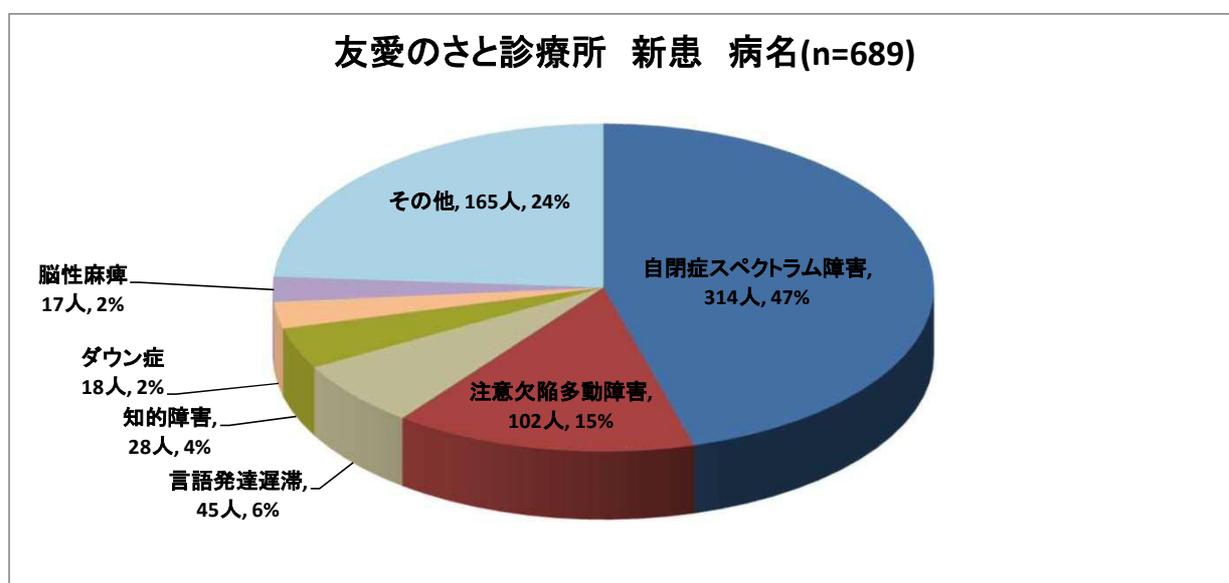
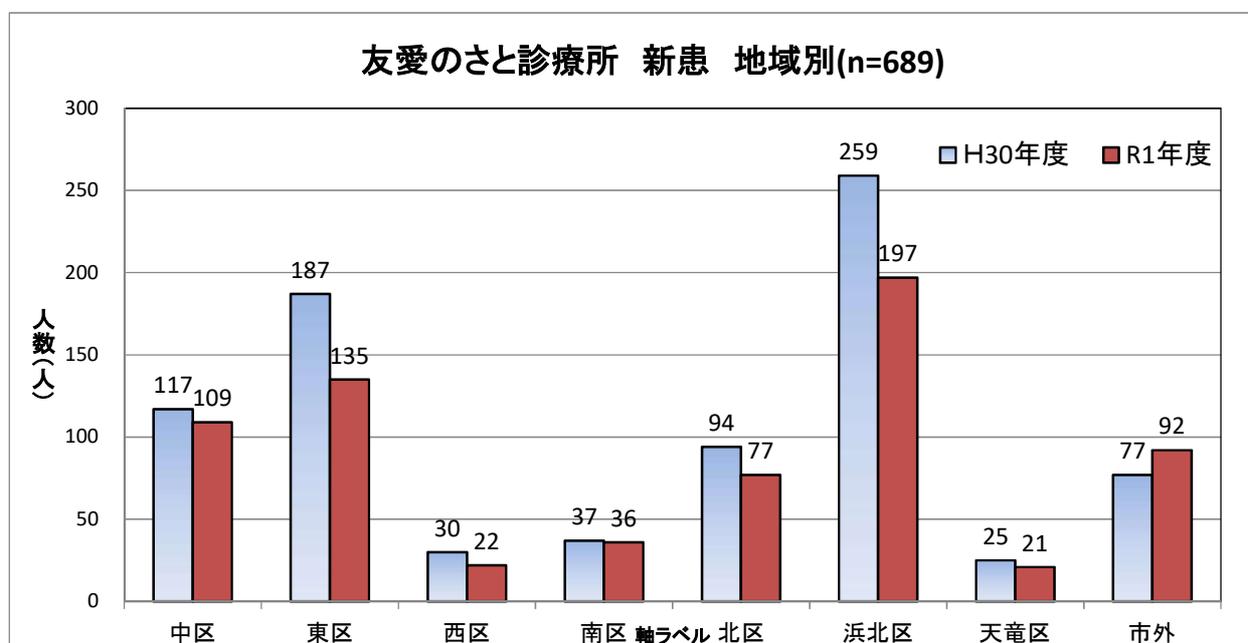
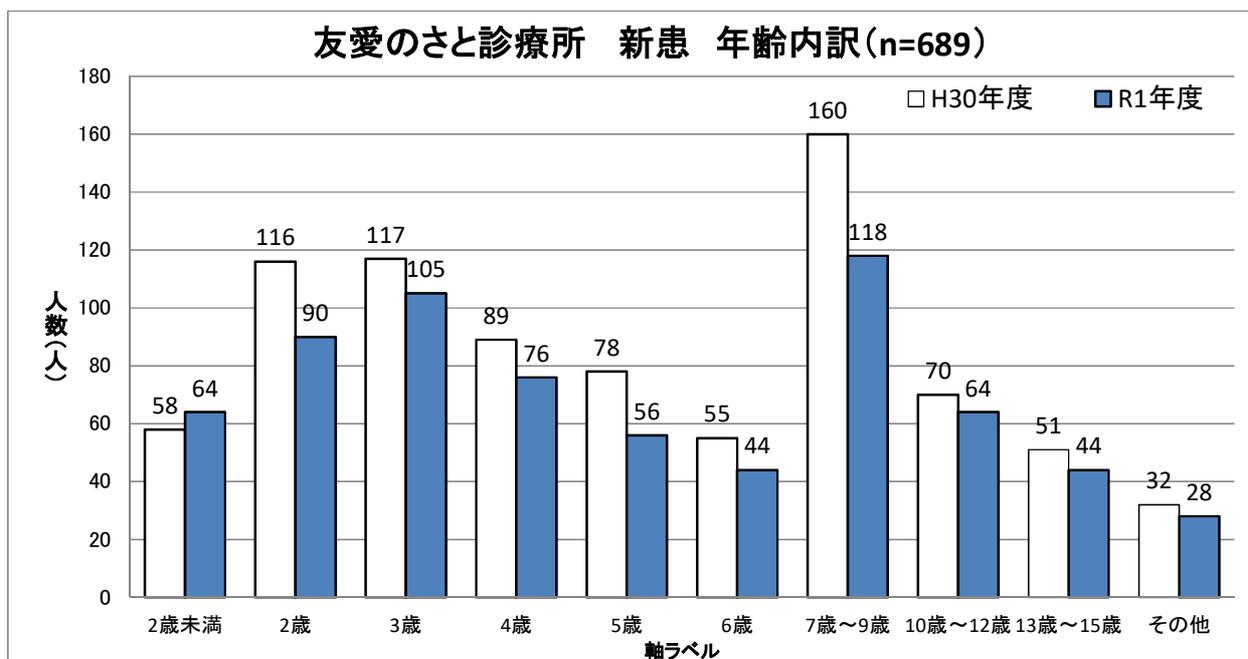
年齢別内訳は7歳～15歳が全体の50%を占め、地域別内訳では中区が最も多く全体の33%、中区・西区・南区で全体の67%を占めた。新患患者の内73人は親治療を行い、親子並行治療にも積極的に取り組んだ。疾患別では自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害で全体の46%を占めた。

言語療法においては、4月より新しい言語聴覚士を2名採用し、5名体制とし新規訓練患者の受け入れを継続した。2名の新規採用職員はそれぞれチューターと2人でチームを組み、症例を共有し、職員教育の実施と臨床の質・量を保つことの両立を図った。さらに、1名を保護者対応とし、患者の発達特性の確認、育児や発達の相談、適切な就学に向けたアドバイスを行うことを全症例に徹底した。

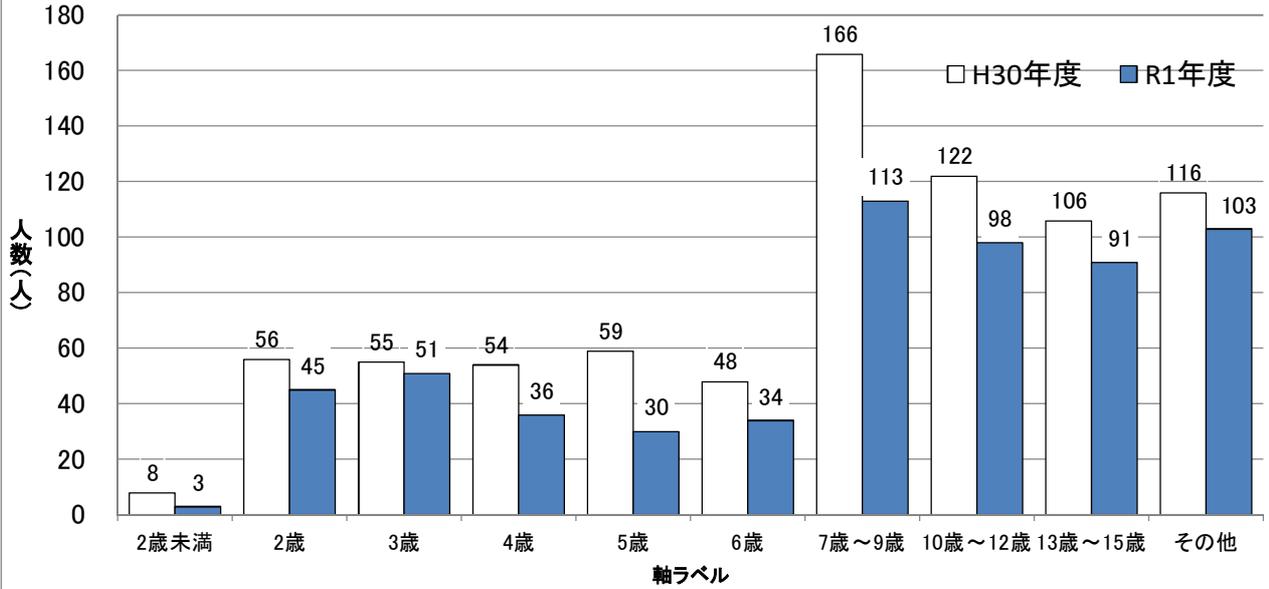
また、児童発達支援事業所「ひまわり ころん」とは、引き続き全ケースを言語療法と共有し、アセスメントを行ったうえで個別療育と集団療育の課題のすり合わせを行い、共通の課題に双方で同時に取り組むことで、より効果的な支援へと繋げた。

心理療法においては、対応が難しい保護者のニーズに応えるために、個別心理面接に重点を置いて取り組んだ。これまでも子どもだけでなく、母親や父親へのトラウマ治療を実施しているが、加えて親子関係や夫婦関係の調整を目的とした心理面接も実施した。ペアレントトレーニングの集団形式に関しては、保護者の就労等の都合により、実績は減少した。学校や児童相談所などの他機関との連携も行き、医療だけでなく他分野も含めた包括的な支援を提供した。

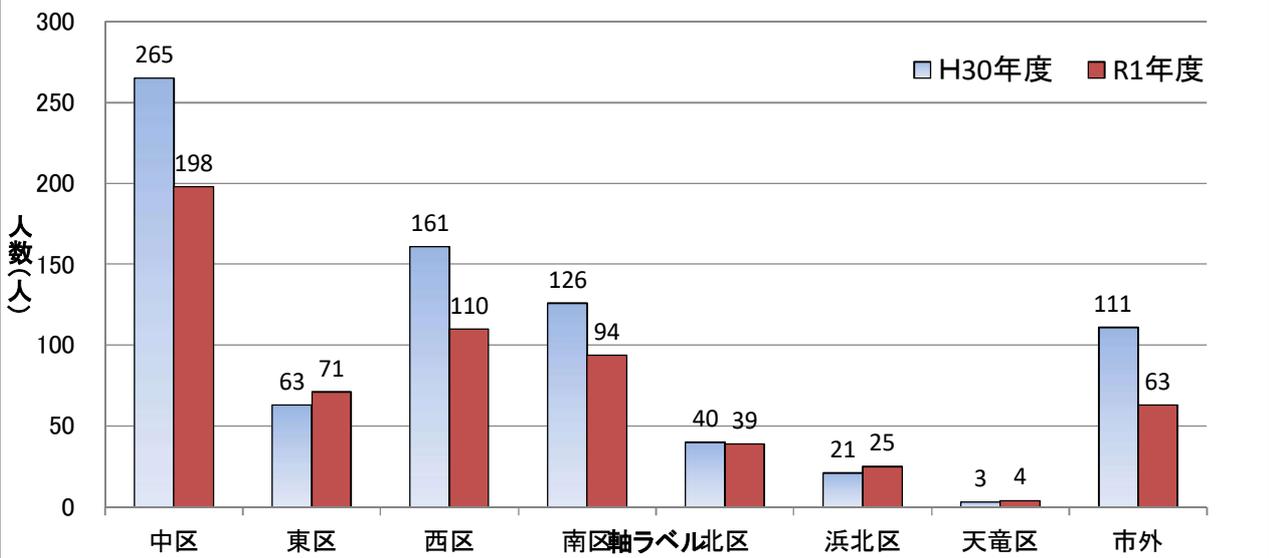
相談においては、保護者が知的・発達・精神的な問題を抱えており、書類や手続きが進まないことがあるため、多職種と連携して支援を行った。多職種連携は院内（言語、心理、医療事務）、院外（保健、教育、療育、福祉、行政など）ともに行った。



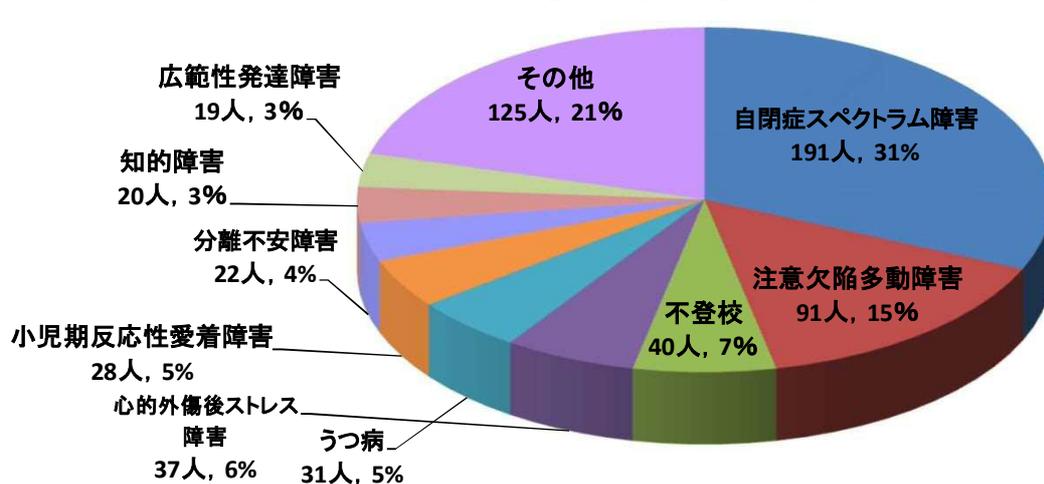
子どものこころの診療所 新患 年齢内訳(n=604)



子どものこころの診療所 新患 地域別(n=604)



子どものこころの診療所 新患 病名(n=604)



【 3 】 相談支援事業所シグナル

平成31年4月1日～令和2年3月31日

【根拠法令等：発達障害者総合支援法第5条第16項、第77条第1項、児童福祉法第24条の28、浜松市障害者相談支援事業実施要綱、浜松市家庭訪問等個別支援事業実施要綱】

障害者自立支援法
障害者相談支援事業
指定特定相談支援事業
 <利用対象者>
 障害福祉サービスを利用する
 すべての障がい児者

児童福祉法
障害児相談支援事業
 障がい児の通所サービス利用
 等の支援(障害児相談)

 障害者虐待防止法
浜松市家庭訪問等個別支援事業

項 目	単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比	
障害者相談支援事業	障害者相談支援事業	件	1,995	2,595	1,900	2,735	105.4%
	(内数:専門的な知識を必要とする困難ケース等へ対応)	件	(295)	(444)	—	(479)	107.9%
	障害福祉サービス等への専門的指導・助言	件	54	28	55	28	100.0%
	関係機関面談	件	28	—	—	—	—
	教育機関・医療機関・企業・自治会等への助言等	件	—	59	27	41	—
	相談支援事業者への専門的指導・助言、人材育成	件	—	5	15	12	—
	相談支援事業所間の連絡調整	件	70	50	60	68	136.0%
その他	インテーク面接(友愛のさと診療所初診時間診)	件	745	791	870	687	86.9%
	園・学校訪問等支援	件	36	—	—	—	—
	自主事業「啓発事業等」	件	4	4	4	6	150.0%

指定特定相談支援事業	件	311	372	380	356	95.7%
指定特定相談支援に係る連絡調整等	件	1,281	1,291	1,300	1,422	110.1%
障害児相談支援事業	件	4,019	4,570	4,820	5,073	111.0%
障害児相談支援に係る連絡調整等	件	11,106	12,344	10,800	13,017	105.5%
契約者数(計画相談)	人	1,456	1,474	1,580	1,774	120.4%
利用料金	円	67,421,440	80,036,105	83,200,000	92,140,747	115.1%

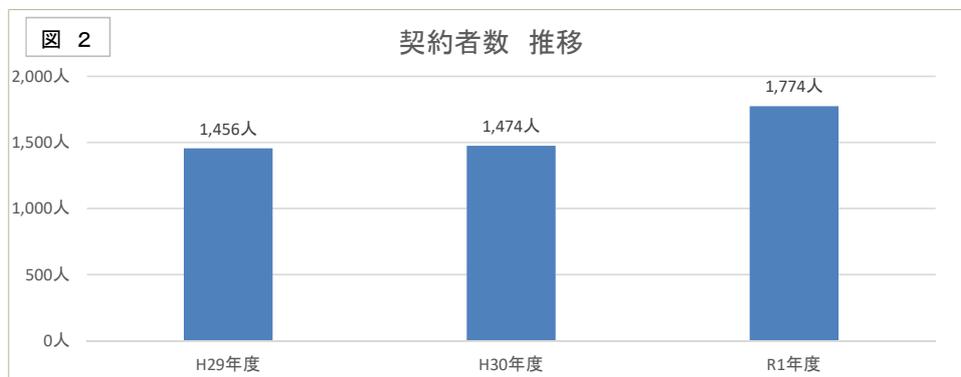
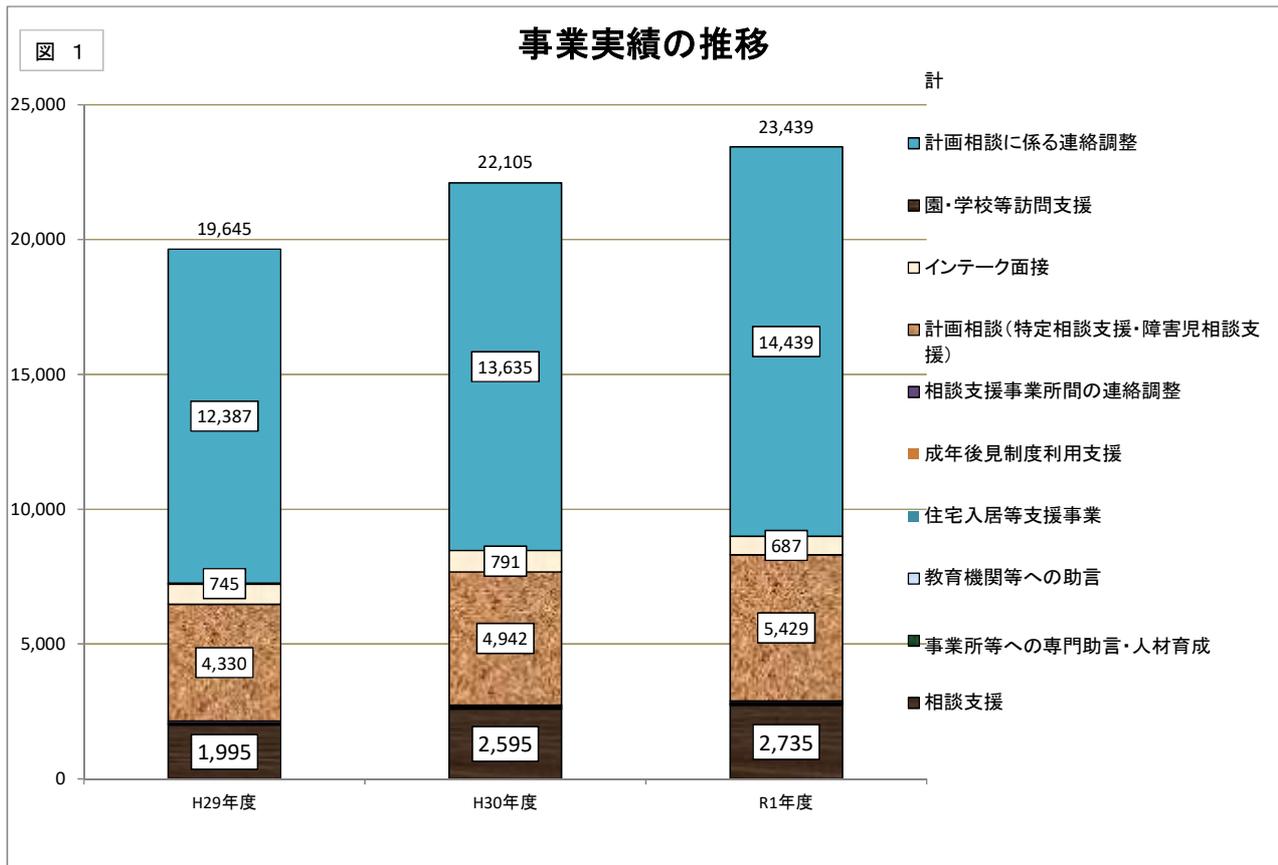
浜松市家庭訪問等個別支援事業	件	12	12	12	12	100.0%
----------------	---	----	----	----	----	--------

障害児相談支援を中心に前年度実績および計画値に比べ事業実績が上回った(図1)。障害者相談支援事業では生活困窮や虐待など他機関と密な連携が必要なケースのほか、幼児期学童期に友愛のさと診療所を受診し終診となっていた人が青年期に移行し、就職や障害年金などライフステージの変化に伴う相談対応があった。障害児相談支援では児童発達支援や放課後等デイサービスの利用を目的とした新規相談が約300件あり、計画作成及びモニタリングが増加している。

計画相談の契約者数は1,744人(図2)となった。新規サービス利用以外に他事業所から当事業所への移行希望ケース等もあり、新規契約者数は前年度より300人(前年度比120%)増加した。

相談支援事業者への専門的指導・助言および人材育成に関する業務では基幹相談支援センターと協働し研修会を企画・実施した。また、浜松市相談支援専門員連絡会では世話人として市内の相談支援専門員の人材育成に関わった。

自主事業では子ども発達セミナーとして子どものネット・ゲーム依存をテーマとした講演会のほか、家族支援を目的とした事業を実施した。



実施事業

子ども発達セミナー



子ども相談支援研修



【 4 】発達相談支援センター「ルピロ」

【根拠法令等：発達障害者支援法第14条、浜松市発達障害者支援センター事業実施要綱】

※NPO法人しずおか・子ども家庭プラットフォームとの浜松市発達障害者支援センター運営事業特定業務委託共同企業体にて事業受託

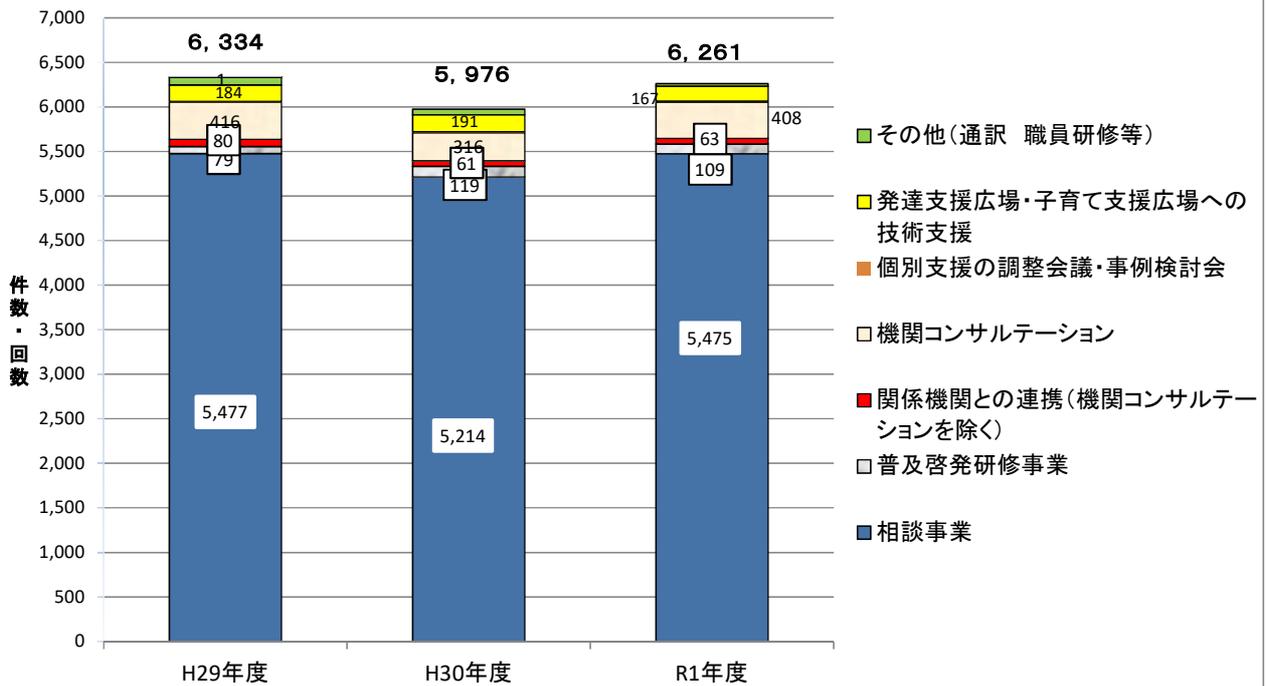
項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
相談事業 (相談支援・発達支援・就労支援)		支援件数	5,477	5,214	5,100	5,475	105.0%
市民向け情報発信		実施回数	4	4	3	3	75.0%
関係施設 及び 関係機関 等に対する 普及啓発 及び 研修事業	研修講師派遣	実施回数	13	15	15	13	86.7%
	発達障害児保健師研修会	実施回数	2	5	5	5	100.0%
	療育関連施設事業者向け事例検討会	実施回数	5	5	5	5	100.0%
	保育士、幼稚園教諭等への研修	実施回数	21	17	14	18	105.9%
	ペアレントプログラム	実施回数	20	50	48	47	94.0%
	発達支援の部屋の運営支援	実施回数	5	5	6	6	120.0%
	発達支援広場への技術的支援	実施回数	163	165	168	149	90.3%
	子育て支援ひろばへの支援 その他	実施回数	21 9	26 18	20 随時	18 12	69.2% 66.7%
関係施設 関係機関 等の連携	連絡協議会の開催	実施回数	3	1	2	2	200.0%
	連絡協議会の参加(県内・全国等)	実施回数	2	4	4	4	100.0%
	機関コンサルテーション	実施回数	416	316	500	408	129.1%
	連絡会等への参加	実施回数	75	56	50	57	101.8%
個別支援のための調整会議	支援件数	8	8	2	8	100.0%	
個別支援のための研修会	支援件数	3	3	5	3	100.0%	
その他(通訳 職員研修等)	実施回数	-	87	64	随時	28	43.8%
計	回数・件数		6,334	5,976	5,947	6,261	104.8%

相談事業の件数は5,475件で、平成30年度の5,214件と比較し増加傾向(前年度比105%)にある。相談支援の傾向では、年齢層において成人期の相談が平成30年度の358件(25.1%)から384件(25.5%)へと微増しているが、今後も増加していくと考えられる。(全国の発達障害者支援センターの利用者年齢層の平均割合は成人期が50%以上)。

普及啓発及び研修事業では、保護者向けのペアレントプログラムの実施会場を子育て支援広場中心から幼稚園や区の保健センターに拡大した。今後の課題として、より効率的に市民に提供するための実施会場を選択していく。また、市民向け情報発信は数年来、浜松医大や本人・保護者の当事者団体との協働によって行っており、参加者より好評を博しているため、情報発信の新しい手法として今後はさまざまな分野との協働に拡大させていきたい。

関係機関連携は、機関コンサルテーションに力を入れ、平成30年度の316件から29%増の408件まで増加させた。機関コンサルテーションは直接相談と異なり、地域や現場での支援を下支えするものだが、直接相談よりも支援の合理性や効率性が高い活動であるため、今後においても相談事業と共にルピロの重要な事業の柱として位置付けていきたい。

「ルピロ」の事業実績の推移



ルピロ主催の研修会

基幹的職員研修



保育者研修会



【 5 】 児童発達支援センター「ひまわり」

【根拠法令等：児童福祉法第43条第1号、浜松市保育者等巡回支援事業実施要綱】

		定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	事業所管理者	児童発達支援管理責任者	計
毎日通園部	重症心身障がい児	10	4:1	3:1	7(6.4)	1	1	9(8.4)
	身体・知的・発達障がい児	55	4:1	4:1 (身体は3:1)	22(21.3)	兼務	1	23(22.3)
親子通園部		15			9(7.0)	兼務	1	10(8.0)
合計		80	—	—	38(34.7)	1	3	42(38.7)

※()は常勤換算数

※事務職員(2)、管理栄養士(1)、兼務心理士(1)を除く

※発達支援広場、保育所等訪問支援事業、保育所等巡回支援事業に従事する兼務職員含む。

※毎日通園部は、年齢、障がい程度、発達状況に応じて「きらきら」(知的障がい児・発達障がい児)6クラス、「ぼかぼか」(重症心身障がい児・身体障がい児)2クラスで編成した。

○児童発達支援センター「ひまわり」(定員80人)

毎日通園部 (定員65人)	ぼかぼか (重症心身障がい児) (肢体不自由児)
	きらきら(知的・発達障がい児)
親子通園部 (定員15人)	就園前グループ 一般園との併行グループ
保育所等訪問支援	
居宅訪問型児童発達支援	

勘定科目	内 容
自立支援費 等収入 (利用料金)	基本報酬(797単位) (重心1279単位)
	各種加算※
	給食費

※各種加算

- ・児童指導員等加配加算
- ・訪問支援特別加算
- ・栄養士配置加算
- ・福祉、介護職員処遇改善加算
- ・看護職員加配加算
- ・食事提供加算
- ・欠席時対応加算
- ・関係機関連携加算
- ・家庭連携加算
- ・上限額管理加算
- ・関係機関連携加算
- ・保育・教育等移行支援加算
- ・事業所内相談支援加算
- ・福祉専門職員配置等加算

《全体》

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
施設利用状況 (毎日通園部+親子通園部)	定 員	人	80	80	80	80	100.0%
	開所日数	日	232	230	229	230	100.0%
	契約者数	人	259	240	247	253	105.4%
	延べ人数	人	20,864	19,575	20,100	21,022	107.4%
	1日平均	人	89.9	85.1	87.8	91.4	107.4%
	稼働率	%	112.4	106.4	109.7	114.3	107.4%
保育所等訪問支援	延べ人数	人	293	336	340	329	97.9%
居宅訪問型児童発達支援	延べ人数	人	—	23	110	42	—
利用料金(自立支援費等収入)	円	213,012,103	215,092,822	224,873,000	234,761,863	109.1%	
1人あたりの平均単価	円	10,068	10,790	10,943	10,974	101.7%	

《毎日通園部》重症心身障がい児

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	100.0%
	開所日数	日	232	230	229	230	100.0%
	契約者数	人	17	15	17	16	106.7%
	延べ人数	人	2,161	1,645	1,840	2,258	137.3%
	1日平均	人	9.3	7.2	8.0	9.8	136.1%
	稼働率	%	93.1	71.5	80.3	98.2	137.3%

《毎日通園部》身体、知的、発達障がい児(重症心身障害児以外)

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	55	55	55	55	100.0%
	開所日数	日	232	230	229	230	100.0%
	契約者数	人	72	75	70	71	94.7%
	延べ人数	人	14,393	13,549	13,960	14,174	104.6%
	1日平均	人	62.0	58.9	61.0	61.6	104.6%
	稼働率	%	112.8	107.1	110.8	112.0	104.6%

○ ぽかぽか(重症心身障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	7	2	1	2	0	4	0	0	0	0	0	16
年齢別	～4歳	4歳(年少)	5歳(年中)	6歳(年長)				性別	男	女		
	0	6	5	5					11	5		
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級			3級
	14	1	0	0	1	4	1	0	0	0	5	0

○ ぽかぽか(身体障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	2	1	1	3	1	2	0	0	0	0	0	10
年齢別	～4歳	4歳(年少)	5歳(年中)	6歳(年長)				性別	男	女		
	0	5	3	2					5	5		
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級			3級
	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	2

○ きらきら(知的、発達障がい児)

地域別	浜松市							磐田市	袋井市	掛川市	湖西市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	7	18	0	2	8	25	1	0	0	0	0	61
年齢別	～4歳	4歳(年少)	5歳(年中)	6歳(年長)				性別	男	女		
	0	20	24	17					52	9		
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級			3級
	4	0	0	0	0	4	20	0	0	0	3	36

○ 医療的ケアの状況

医療的ケア	注入	吸引	導尿	呼吸器	酸素	その他	合計
	7	4	0	2	2	1	16

※利用児により医療的ケアの実施が重複している場合もある

○ 入園経路の状況

	発達支援広場		外来早期G	外来早期G	ひまわり親子 ※			ひまわり親子・ひつじ・くじら ※					幼稚園		保育園		児発	認定こども園	その他	合計
	センター型	施設型	もぐもぐ	パンダ	すくすく	こぐま	きりん	幼稚園 公立	幼稚園 私立	保育園 公立	保育園 私立	認定こども園	公立	私立	公立	私立				
ぽかぽか(重症心身障がい児)	0	0	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	16
ぽかぽか(身体障がい児)	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	10
きらきら	0	0	0	0	0	1	46	0	0	0	2	1	1	1	1	2	1	2	3	61
合計	0	0	0	10	0	6	48	0	0	0	4	1	1	1	1	2	3	2	8	87

※ひまわり親子通園部のグループは、「ひまわりひくまの丘」の利用児も含む

○ 進路の状況

	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学				児発	ひまわり継続	その他	合計
	幼稚園		保育園		認定こども園	特別支援学校	発達支援学級	通常学級					
	公立	私立	公立	私立									
ぽかぽか(重症心身障がい児)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	11	0	16	
ぽかぽか(身体障がい児)	0	0	0	0	1	2	0	0	0	7	0	10	
きらきら	2	4	0	0	1	9	7	1	0	36	1	61	
合計	2	4	0	0	2	16	7	1	0	54	1	87	

☆ 毎日通園 保護者支援事業「ペアレントトレーニング」

項 目	単 位	延べ参加人数	対応職員数	職 種	
ペアレントトレーニング前期1コース6回	延 べ 人 数	人	84	12	臨床心理士・保育士
ペアレントトレーニング後期1コース8回(2グループ)	延 べ 人 数	人	81	20	臨床心理士・保育士
ペアレントトレーニングアフターフォロー1コース3回	延 べ 人 数	人	15	4	臨床心理士・保育士
合計3コース(4グループ)17日実施	人	165	36		

内容:子どもへのほめ方、対応の仕方など親自身の子育て技術の向上をめざしての勉強会

☆ 新規発達支援学級担当教員研修の受け入れ

項 目	実施月日	外部参加人数	内 容
新規発達学級担当教員研修	6月7日	11人	9:30~15:00クラスごとの療育への実習 15:10~16:20グループ協議 (ひまわりの実習についての質疑、発達支援級での指導などについて)
	6月14日	11人	
	6月21日	10人	
	6月28日	11人	

《親子通園部》

項 目	単 位	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度計画	令和元年度実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	15	15	15	100%
	開 所 日 数	日	232	230	229	100.0%
	契 約 者 数	人	170	166	160	100.0%
	実 施 回 数	回	572	633	630	101.3%
	延 べ 人 数	人	4,310	4,381	4,300	104.8%
	1 回 平 均	人	7.5	6.9	6.8	104.3%
	1 日 平 均	人	18.6	19.0	18.8	105.3%
	稼 働 率	%	123.9	127.0	125.2	133.0

地域別	浜松市							磐田市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				
	5	38	3	18	11	86	5	0	0	166	
年齢別	~1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	性 別	男	女	合 計
	0	2	90	11	30	33	166		121	45	166
手帳所持別	身体手帳	療育手帳	精神手帳	重複所持	手帳なし						
	3	11	0	1	153						

グループ名	区 分	グループ構成
こぐま(1)	就園前のグループ	染色体疾患や運動発達の遅れがあり、年度内に3歳になる児のグループ
きりん(8)		発達に遅れや偏りを伴い、年度内に3歳になる児のグループ
ひつじ(5)	並行通園グループ	幼稚園・保育園に就園中の児で、多動・自閉傾向・言葉の遅れがある児のグループ
くじら(2)		幼稚園・保育園に就園中の年中・年長児で、発達に偏りを伴う児のグループ

※()はグループ数

○ 進路の状況

	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	グループ継続	その他(海外転居等)	合計
	幼 稚 園		保 育 園		認 定 こども園	特 別 支 援 学 校	発 達 支 援 学 級	通 常 学 級				
	公 立	私 立	公 立	私 立								
こぐま、きりん	18	36	1	5	7	0	0	0	21	0	4	92
ひつじ、くじら	11	12	0	7	10	0	10	22	2	0	0	74

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	246	267	340	291	109.0%
	延べ実施回数	回	293	336	340	329	97.9%
	延べ人数	人	293	336	340	329	97.9%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							森町	磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	25	71	5	23	23	132	9	0	1	2	0	0	291
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	小学生	中学生	高校生	合計			
	0	1	15	40	54	40	134	7	0	291			
性別	男	女	合計										
	228	63	291										

○ 訪問支援先の状況

訪問先	幼稚園		保育園		認定 こども園	小学校	中学校	特別支援 学校	合計
	公立	私立	公立	私立					
親子通園部利用児	14	13	3	4	27	0	0	0	61
そ の 他	17	35	4	8	25	123	4	14	230
計	31	48	7	12	52	123	4	14	291

《居宅訪問型児童発達支援事業》

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
居宅訪問型児童発達支援事業	実 人 数	人	-	3	3	2	66.7%
	延べ実施回数	回	-	23	110	42	182.6%
	延べ人数	人	-	23	110	42	182.6%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区		
	2	0	0	0	0	0	0	2	
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計		
	0	0	0	0	1	1	2		
性別	男	女	合計						
	2	0	2						

○ 進路の状況

進路先	就学	児発	継続	その他	合計
利用児	1	0	1	0	2

《自主事業》

項目	事業内容	実施予定日	実施件数
(1)地域支援1 まとも食・ミキサー食勉強会	まとも食・ミキサー食の勉強会(地域の保護者対象)	2月	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止
(2)地域支援2 発達に特性をもつ児と関わる児童発達支援事業所職員等の勉強会	「偏食ってなに」～食べられない子が食べられるように～ 講師 藤井葉子先生(広島市西部療育センター管理栄養士)	3月	中止

《毎日通園部》

ひまわりの生活場面においては、構造化や視覚支援などを積極的に取り入れて環境を整えた。また、ひまわり・家庭ともに、毎日の生活リズムを整えることが必須であることから、療育センターの臨床心理士やシグナルの相談員も同行した。家庭訪問を実施し、家庭で落ち着いて過ごせる環境づくりの提案等をした。

食事の形態や摂食方法などに課題のある利用児については、療育センタースタッフ等と共同で「摂食会議」を行い、より良い支援に努めた。

《親子通園部》

一般園と並行して利用するグループのニーズが高くなっている一方、1歳児(すくすく)グループの待機児童が減少していることから、グループの入れ替えを行い、並行通園グループの数を増やした。並行通園児の保護者はグループへの参加意欲が高いことから、出席率が高くなった。

《保育所等訪問支援事業》

一般園や学校における保育所等訪問支援事業についての認知度が高くなり、情報共有が可能な一般園や学校が増えてきた。複数の対象児が通っている一般園も増えており、一般園の先生方を対象に理解を深める研修実施の依頼を受けることもあった。

《居宅訪問型児童発達支援》

前年度から継続を予定していた契約者1名が退所したことにより、延べ人数が計画より減少した。居宅訪問型児童発達支援を実施するにあたり、保護者と一緒に利用児の体調を確認しながら実施した。利用初期は緊張感の高い2名であったが、継続して訪問する中で繰り返しの歌やあいさつ、リズム遊びや製作などを行うことで、聞き慣れたり触れ慣れたりして心地良いという反応や期待する表情が見られるようになった。

活動の様子

毎日通園 みんなでおさんぽ



毎日通園ほかほか 生活発表会



毎日通園きらきら うんどうかい



【 6 】浜松市委託事業（浜松市発達支援広場事業、浜松市保育所等巡回支援事業）

★浜松市保育所等巡回支援事業

項 目	単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
保育所等巡回 延べ回数	回	238	312	300	384	123.1%

訪問先	幼稚園		保育園		認定こ ども園	認証 保育所	小規模 保育事 業	事業所 内保育 事業	企業主 導型保 育事業	認可外 保育施 設	放課後 児童会	合 計
	公 立	私 立	公 立	私 立								
実施回数	59	74	28	63	82	9	16	7	33	11	2	384

※巡回支援事業の対象園の保育者を対象に、講演会の実施5回

申し込み時の相談の中で、子どもの行動に気になる点があることに加え家族状況も心配であるといった相談が、前年度13.5%から今年度17.9%に増えており、1ケースに時間を要することがあった。
 保護者面談の希望が前年度約25件から今年度57件に倍増した。面談は1回あたり平均70分かかり、担任に加え上司が面談に同席したケースは56.4%であった。
 企業主導型保育事業からの依頼が増え、その中には新規開設園も数件あった。
 利用に慣れてきた園は、相談の対象を幼児中心から乳児まで広げていく園もあった。

★浜松市発達支援広場事業(たんぼぼ広場)

項 目	単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成30年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比		
中 央 保 健 福 祉 社	発達支援広場 (センター型)	開催回数	回	40	40	40	38	95.0%
		参加組数	組	79	77	20	67	87.0%
		延べ参加組数	組	623	716	800	574	80.2%
		延べ人数	人	1,254	1,438	1,600	1,173	81.6%
		1回平均	組	15.6	17.9	20	15.1	84.4%
	医師相談	実施人数	人	25	26	—	22	84.6%
心理相談	実施人数	人	22	22	—	21	95.5%	
セ 浜 北 保 健 中 心	発達支援広場 (センター型)	開催回数	回	39	40	40	36	90.0%
		参加組数	組	77	89	20	72	80.9%
		延べ参加組数	組	669	733	800	544	74.2%
		延べ人数	人	1,355	1,515	1,600	1,087	71.7%
		1回平均	組	17.2	18.3	20	15.1	82.5%
	医師相談	実施人数	人	25	24	—	24	100.0%
心理相談	実施人数	人	25	25	—	23	92.0%	
友 愛 の さ と	発達支援広場 (施設型)	開催回数	回	79	81	84	77	95.1%
		参加組数	組	52	47	45	47	100.0%
		延べ参加組数	組	795	816	800	653	80.0%
		1回平均	組	10.1	10.1	9.5	8.5	84.2%

浜松市発達支援広場事業「たんぼぼ広場」は現在市内7会場で開催されており、浜北保健センター(浜北区)及び中央保健福祉センター(中区)の2会場を受託している。
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため3月は休止となり、参加回数、参加組数等は計画より少なくなった。またセンター型の浜北会場では、前年度まで待機者数が30名以上と非常に多かったが、今年度は通年10名以下となっており、参加率も減少し延べ人数は前年度の3分の2程度となっている。
 発達支援広場事業施設型においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため3月は休止となった。また、家庭の事情により参加が難しい家庭もあり、家庭によって参加率にばらつきがあった。

【 7 】 児童発達支援事業所「ひまわりひくまの丘」

【根拠法令等：児童福祉法第6条2の2】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	児童発達支援管理責任者	管理者	計
親子通園部	10	5:1	5:1	4	1		5(5.0)

※()は常勤換算数

※保育所等訪問支援事業、保育所等巡回支援事業に従事する兼務職員含む。

○児童発達支援事業所「ひまわりひくまの丘」(定員10人)

親子通園 (定員10人)	就園前グループ 一般園との並行グループ
保育所等訪問支援	

勘定科目	内 容
自立支援費 等収入 (利用料金)	基本報酬(827単位)
	各種加算
	給食費

※各種加算

- ・児童指導員等配置加算
- ・利用者上限額加算
- ・関係機関連携加算
- ・福祉専門職員配置等加算
- ・家庭連携加算
- ・保育教育等移行支援加算
- ・児童指導員等加配加算
- ・訪問支援特別加算
- ・福祉、介護職員処遇改善加算
- ・欠席時対応加算
- ・事業所内相談支援加算

＜親子通園＞

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定員	人	10	10	10	10	100%
	開所日数	日	239	237	233	231	97%
	契約者数	人	110	111	80	109	98%
	実施回数	回	427	427	392	418	98%
	延べ人数	人	2,526	2,651	2,500	2,463	93%
	1日平均	人	10.6	11.2	10.7	10.7	95%
	稼働率	%	105.7	111.9	107.3	106.6	95%
保育所等訪問支援	延べ人数	人	72	95	75	96	101%
利用料金(自立支援費等収入)	円	29,529,207	31,605,561	32,423,000	30,361,942	96%	
1人あたりの平均単価	円	11,366	10,767	12,591	11,865	110%	

◎ 親子通園(児童発達支援)の状況(令和2年3月31日現在)

地域別	浜松市							合計	性別		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				
	61	24	3	9	8	3	1	109			
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	性別	男	女	合計
	0	0	37	40	16	16	109		87	22	109
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし	合計					
	0	8	0	0	101	109					

グループ名	区 分	グループ構成
きりん(4)	就園前のグループ	発達に遅れや偏りを伴い、年度内に3歳になる児のグループ
ひつじ(5)	並行通園グループ	幼稚園・保育園に就園中の児で、多動・自閉傾向・言葉の遅れがある児のグループ
キラピーノ(2)	並行通園グループ	前年度グループを終了した児のフォローアップ・保護者同士の情報交換の場

※グループ名横の()はグループ数

○ 進路の状況

	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行				就学				児発	グループ 継続	その他 (海外 転居 等)	合計
	幼稚園		保育園		認定 こども 園	特別 支援 学校	発達 支援 学級	通常 学級				
	公立	私立	公立	私立								
親子通園部 (きりん)	0	23	0	2	7	0	0	0	4	0	1	37
	一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行				就学				児発	グループ 継続	その他 (海外 転居 等)	合計
	幼稚園		保育園		認定 こども 園	特別 支援 学校	発達 支援 学級	通常 学級				
	公立	私立	公立	私立								
親子通園部 (ひつじ)	3	20	1	6	7	0	5	2	1	10	2	57
親子通園部 (キラピーノ)	3	9	0	0	3	0	0	0	0	0	0	15

《保育所等訪問支援事業》

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
保 育 所 等 訪 問	実 人 数	人	63	79	75	88	111%
	延べ実施回数	回	72	95	75	96	101%
	延べ人数	人	72	95	75	96	101%

○ 利用児の状況

地域別	浜松市							森町	磐田市	袋井市	掛川市	菊川市	合計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区						
	44	24	4	9	3	3	1	0	0	0	0	0	88
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	7歳以上	性別	男	女	合計		
	0	0	8	37	18	19	6		69	19	88		
手帳所持別	身体 手帳	療育 手帳	精神 手帳	重複 所持	手帳 なし								
	0	8	0	0	80								

○ 訪問支援先の状況

訪問先	幼 稚 園		保 育 園		認定 こども園	小学校	中学校	特別支援 学校	合計
	公 立	私 立	公 立	私 立					
親子通園部利用児	6	24	5	5	13	0	0	0	53
そ の 他	1	18	0	2	8	6	0	0	35
計	7	42	5	7	21	6	0	0	88

《親子通園》

一般園と並行して利用するグループ療育の需要が大きくなり、今年度はニーズに合わせ並行通園グループの数を増やした。また、利用児の入替り等で空きが生じてもすぐに利用できるよう、相談支援事業所と連携しスムーズに参加につながるよう努めた。

保護者対応では地域柄、転勤族などによる核家族も多く、まわりの支援を得られない家庭が増えている。孤立することのないよう、家庭での対応方法についてより具体的なものを提案し支援を行った。また、育児困難感のある母親が多く、母親のレスパイト対策を必要とする家庭も多かった。

冬季は風邪等で利用児又はその兄弟による欠席が多かったことや、保護者の入院などによる長期欠席児も数名おり各グループの出席にばらつきがみられた。

大雨・暴風警報により避難勧告が発令されたため、計2日の開催を見合わせた。

《保育所等訪問支援事業》

保育所等訪問支援のニーズも高く、前年度まで在籍していた利用児の利用が多かった。緊急性が高く迅速に対応しなければならないケースが8件あった。しかし限られたなかでの日程調整や職員の配置が難しく、希望が出た時に即座に訪問支援することが難しいケースもあった。

また、一般園の保育方針が多様化しており、各一般園の保育方針を考慮し支援方法を考えることが非常に難しくなっている。そのため、児童施設間の情報共有方法を工夫する必要性が高まっている。

《キラピーン》

一般園に就園した利用児の保護者同士が、日頃の悩み等を本音で語り共感しあえる場として貴重な機会となっている。また職員へ相談の要望も多く、具体的な対応方法を知り、話をすることでリフレッシュにつながっていると思われる。

活動の様子

サーキット



ゲームあそび



児童発達支援事業所「ひまわり こころん」

【根拠法令等：児童福祉法第16条の2の2】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	直接処遇職員	児童発達支援管理責任者	管理者	計
毎日通園	10	5:1	5:1	3	1		4(4.0)

※()は常勤換算数

○児童発達支援事業所「ひまわり こころん」

毎日通園	定員10人
保育所等訪問支援	

勘定科目	内 容
自立支援費等収入 (利用料金)	基本報酬(827 単位)
	各種加算
	給食費

※ 各種加算

- ・児童指導員等配置加算
- ・利用者上限額加算
- ・関係機関連携加算
- ・福祉専門職員配置等加算
- ・家庭連携加算
- ・特別支援加算
- ・児童指導員等加配加算
- ・訪問支援特別加算
- ・保育教育等移行支援加算
- ・欠席時対応加算
- ・事業所内相談支援加算
- ・福祉、介護職員処遇改善力

《毎日通園》

項 目		単位	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度計画	令和元年度実績	前年度比
施設利用状況 (児童発達支援)	定 員	人	10	10	10	10	100.0%
	開所日数	日	135	231	229	231	100.0%
	契約者数	人	12	11	11	12	109.1%
	延べ人数	人	1,211	1,955	2,150	2,199	112.5%
	1日平均稼働率	%	89.7	84.6	93.9	95.2	112.5%
保育所等訪問支援	延べ人数	人	1	12	10	9	75%
利用料金(自立支援費等収入)		円	13,759,594	22,340,347	25,923,000	23,923,452	107.1%
1人あたりの平均単価		円	11,362	11,427	12,057	10,879	95.2%

◎ 毎日通園(児童発達支援)の状況

地域別	浜松市							合計			
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区		性別	男	女
	6	0	4	2	0	0	0	12			
年齢別	～1歳	2歳 (1歳児)	3歳 (年少小)	4歳 (年少)	5歳 (年中)	6歳 (年長)	合計	性別	男	女	合計
	0	0	2	3	7	0	12				
手帳所持別	身体手帳	療育手帳	精神手帳	重複所持	手帳なし	合計					
	0	7	0	0	5	12					

○入園経路の状況

発達支援広場		外来早期G	外来早期G	ひまわり親子	ひまわり親子	ひまわり親子	ひまわり親子・ひつじ	ひまわり親子・ひつじ	幼稚園		保育園		児発		診療所	合計		
センター型	施設型	もぐもぐ	パンダ	すくすく	こぐましろくま	きりん	幼稚園 公立	幼稚園 私立	保育園 公立	保育園 私立	公立	私立	公立	私立			親子通	単独
0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	2	12

○進路の状況

一般園(地域の幼稚園・保育園)へ移行					就学			児発	こころん継続	その他(海外転居等)	合計	
幼稚園		保育園			認定こども園	特別支援学校	発達支援学級					通常学級
公立	私立	公立	私立	0								
0	1	1	0	0	0	0	0	0	10	0	12	

○支援内容

項目	事業内容	実施件数
子どものこころの診療所 専門スタッフ連携	言語聴覚士による特別支援(集団の場での目標作成・アセスメント等)	延べ260名
	医師・言語聴覚士・精神保健福祉士によるケースカンファレンス(月2回)	13回
家庭支援	個人面談・家庭訪問(1期・2期・3期)	71回
	クラス参加会・勉強会(年9回)	63名
	祖父母参加会(年1回) 施設への理解を深める説明後、クラスへの活動参加	10名
	父親参加会(年1回) 勉強会の後、クラスへの活動参加	6名
進路相談支援	進路相談による面談	延べ31回
	学校・ガイダンス等の同行支援	延べ17名
	幼稚園・保育園への見学同行・移行支援	延べ5名
地域との連携	鴨江保育園での園庭遊び	73回

《保育所等訪問支援事業》

項目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
保育所等訪問	実人数	人	1	6	5	5	83.3%
	延べ実施回数	回	1	12	10	9	75.0%
	延べ人数	人	1	12	10	9	75.0%

○訪問支援先の状況

幼稚園		保育園		認定 こども園	小学校	中学校	特別支援 学校	合計
公立	私立	公立	私立					
0	2	1	1	1	0	0	0	5

基本的な生活習慣の獲得、小集団による集団生活の社会的スキル向上をねらいとして、環境の構造化や視覚支援などを取り入れ、利用児が次の見通しを立てやすい環境の中で自分でできることを増やしていく取り組みを行っている。

医療(子どものこころの診療所)と連携して定期的なカンファレンスを行いながら集団療育を行うことで、子どものアセスメントをより正確に行うことができ、スキルの獲得や問題行動の緩和を図ることができた。また、言語聴覚士による個別指導の目標と集団療育の目標とのすり合わせをきめ細やかにしながら連携することで、療育効果を上げることができた。また保護者支援も連携することで家庭支援にも効果が見られた。

集団の家庭支援では、「感覚」について言語聴覚士の講義と、我が子に受け入れられるゆさぶりの仕方を人形で試行した後、午後のリミックでゆさぶりをを行い、その後のグループワークでフィードバックする体験型の参加会の他、「手つなぎ支援」や親子ピクニックなどを通じて、子どもへの対応方法を体験することで、家での親子関係の改善が見られた。

活動の様子

(集団の家庭支援・手つなぎ支援)

10月クラス参加会にて練習



11月公園までピクニック



【 9 】 生活介護・就労継続支援施設「かがやき」

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第7項・14項】

	定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
生活介護(パステル)	40	5:1	5:1	12(11.8)	1	2(1.5)	15(14.3)
就労継続支援B型(グリーン)	10	7.5:1	6:1	2(2.0)	生活介護と兼務	生活介護と兼務	2(2.0)
合計	50	—	—	14(13.8)	1	2(1.5)	17(16.3)

※()は常勤換算

勘定科目	内 容
自立支援費等収入(利用料金)	基本報酬 ※区分より単価が異なる
	各種加算
	福祉専門職員配置等加算、初期加算、欠席時対応加算 食事提供体制加算、福祉・介護職員処遇改善加算 送迎加算、重度障害者支援体制加算
	給食費

《生活介護(パステル)》(定員40名)

項目	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度計画	令和元年度実績	対前年度比	
施設利用状況	開所日数	日	245	243	240	242	99.6%
	契約者数	人	51	51	51	52	102.0%
	延べ人数	人	11,226	10,876	11,300	10,973	100.9%
	1日平均稼働率	人	45.8	44.8	47.1	45.3	101.1%
	稼働率	%	114.6	111.9	117.7	113.4	101.3%
利用料金(自立支援費等収入)	円	100,394,936	97,896,952	105,090,000	106,791,010	109.1%	
1人あたりの平均単価	円	8,943	9,001	9,300	9,732	108.1%	

○「生活介護(パステル)」利用者の状況(令和2年3月31日現在)

地域別	浜松市							磐田市	合計		重複所持	手帳なし
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区		男	女		
	19	12	3	2	5	10	0	1				
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	性別	男	女	52	
	1	14	8	23	5	1			34	18		
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分					
	15	16	20	1	0	0	4.86					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			10	0
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	5	3	1	1	0	50	2	1	0	0		

《就労継続支援B型(グリーン)》(定員10名)

項目	単位	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度計画	令和元年度実績	対前年度比	
施設利用状況	開所日数	日	245	243	240	242	99.6%
	契約者数	人	10	10	10	9	90.0%
	延べ人数	人	2,248	2,060	2,200	1,854	90.0%
	1日平均稼働率	人	9.2	8.5	9.2	7.7	90.6%
	稼働率	%	91.8	84.8	91.7	76.6	90.3%
利用料金(自立支援費等収入)	円	16,274,553	14,416,164	15,730,000	13,257,822	92.0%	
1人あたりの平均単価	円	7,240	6,998	7,150	7,151	102.2%	

○「就労継続(グリーン)」利用者の状況(令和2年3月31日現在)

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	3	3	1	0	1	1	0				9	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上					
	0	0	3	6	0	0	0		3	6		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区 分 未 判 定					
	0	0	0	5	1	0	3					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	2	7	0	0	0	0	0

10, 11月に2日間休日に開所し開所日数242日とした。また中型通所バスの廃止により、マイクロバスとワンボックスカーに変更したことにより、小回りの利く送迎が可能となり拠点送迎のバス停が自宅の近くにできたり、乗車人数を数名増やすことができた。

《生活介護》

4月から新規に特別支援学校を卒業した女性1名が利用を開始し契約者数51名でスタートした。さらに6月から女性1名が利用を開始し52名となった。契約者の増加と出席率の改善により延べ人数も前年度より増加(前年度比100.9%)した。支援区分5及び6の利用者が全体の60%を占め平均支援区分が4.86となった。強度行動障害支援者養成研修を修了した支援員が、3名の強度行動障害のある利用者に対し、個別支援計画とは別に強度行動障害支援計画シートを作成し、個別の支援を一層充実させた。また革製品の売り上げが好調で生活介護の就労支援事業収入は大幅な増収となった。

《就労継続支援》

5月に利用者1名が他の施設に移行し契約者数9名となった。さらに1名が8月から週4日の利用から週1日の利用となり、延べ利用人数は減少(前年度比90%)した。利用者工賃の平均月額は、10,120円から12,071円となった。

活動の様子

友愛のさと祭り 体験・作品展



社会体験 天浜線の旅



スポーツ交流会



ペーターの畑 収穫



【 10 】 就労継続支援施設「はばたき」

【根拠法令等：障害者総合支援法第5条第14項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
20	7.5:1	6:1	4(3.9)	1	1	6(5.9)

※()は常勤換算

勘定科目	内 容
自立支援費等収入 (利用料金)	基本報酬
	各種加算
	福祉専門職員配置等加算・初期加算・欠席時対応加算 医療連携体制加算・重度者支援体制加算 送迎加算・食事提供体制加算・福祉・介護職員処遇改善加算 目標工賃達成指導員配置加算
	給食費

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
施設利用状況	開所日数	日	245	244	240	242	99.2%
	契約者数	人	32	32	32	32	100.0%
	延べ人数	人	5,357	5,308	5,300	5,132	96.7%
	1日平均	人	21.9	21.8	22.1	21.2	97.2%
	稼働率	%	109.3	108.8	110.4	106.0	97.4%
利用料金(自立支援費等収入)		円	47,662,614	43,607,616	43,990,000	42,731,350	98.0%
1人あたりの平均単価		円	8,897	8,215	8,300	8,326	101.4%

○利用者の状況(令和2年3月31日現在)

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	6	12	2	5	0	7	0				32	
年齢別	16歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上		18	14		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分未判定					
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級	4	0
	12	10	0	1	1	2	8	0	2	0		

年度当初は利用者32名でスタートし、9月から1名が利用開始、12月に1名が退所して、年度末の契約者は当初と変わらず32名となった。体調を崩すなどで長期間休んだ利用者はいなかったが、退所者の他にご自身の都合で利用日数を減らした方が複数いたため、休日開所を2日実施したものの延べ人数は計画値を下回ることであった。

事業では前年度から始めた「おひとりさまはばとりっぷ」の充実を図った。基本は一人ずつでのお出かけとしていたが、気の合ったグループで出かけたいという方たちもいたため、一人で行くかグループで行くかの選択肢を設け、より利用者の希望に沿った支援ができるよう対応した。

就労支援事業では、軒花は大口の注文が無くなったために前年度より減収に、また喫茶では新商品「おひたま」の提供を始めたが、他メニューに新鮮味が乏しかったためか、こちらも減収となった。陶芸は陶人形のパッケージを工夫するなど、よりお客様から喜ばれる製品を作り、また販売はとうもろこし「甘々娘」が大人気でそれぞれ増収となったが、就労支援事業の総収入は前年度の96.6%に留まった。それに伴い工賃も総額では前年よりやや減額となったが、延べ作業月数が減ったことで利用者一人当たりの工賃月額はずかながら増額となった。

また就労する気持ちがある利用者には一般企業の見学に付添い、よりその意欲を高める支援を行った。喫茶に従事する利用者には、新たに調理の補助を行うなど、その人のできることの幅を広げるよう支援した。

はばとりっぷ(グループ)



陶人形



おひたま



【 11 】 障害者生活介護施設「ふれんず」

【根拠法令等:障害者総合支援法第5条第7項】

定員	法定配置基準	所定配置基準	職員配置数	管理者	サービス管理責任者	計
20	3:1	1.7:1	17(13.1)	1	1	19(15.1)

※()は常勤換算

勘定科目	内 容
自立支援費等収入(利用料金)	基本報酬
	各種加算
	福祉専門職員配置等加算・初期加算・欠席時対応加算 送迎加算(重度)・食事提供体制加算・福祉、介護職員処遇改善加算 人員配置体制加算・リハビリ加算・常勤看護師配置加算
	給食費

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
施設利用状況	開所日数	日	245	243	240	242	99.6%
	契約者数	人	30	29	31	31	106.9%
	延べ人数	人	5,155	4,832	5,000	5,008	103.6%
	1日平均	人	21.0	19.9	20.8	20.7	104.1%
	稼働率	%	105.2	99.4	104.2	103.5	104.1%
利用料金(自立支援費等収入)		円	86,313,972	83,575,295	86,500,000	86,940,712	104.0%
1人あたりの平均単価		円	16,744	17,296	17,300	17,360	100.4%

○利用者の状況(令和2年3月31日現在)

地域別	浜松市							性別	男	女	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	5	12	1	6	2	4	1				31	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上		14	17		
	2	11	10	7	1	0	0					
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分					
	25	6	0	0	0	0	5.8					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	26	4	1	0	0	26	0	0	0	0	26	0

4月より2名の新規利用があり、契約者31名となった。骨折や体調不良による長期入院があったが、安定した利用率であった。休日開所を2日実施し、1日平均利用人数及び延べ人数は前年度より増加した。

3グループの活動を利用者のニーズや身体状態に合わせ、選択できるように工夫した。利用者の選択を尊重し、小グループごとに浜名湖サービスエリア・ヤマハイノベーションロード・福田漁港・方広寺・館山寺周辺散策などの外出支援を実施した。様々な変化のある行事を実施し、季節感を感じられる内容とした。

スノーレン活動の中では、DVDの映像や電子タブレットのアプリや動画などを利用して、視覚的な感覚を楽しんだ。また、ハンモックやパラシュートなどを使用し、様々な感覚を取り入れるように工夫した。

第三者評価を受審し利用者へのサービス提供の向上に努めている。受審後には、サービスの開始・変更の説明時にイラスト入れるなど分かりやすい資料を作成し適切な説明ができるよう見直したり、退所時の引継ぎ様式を統一し適切なフォローアップができるようにするなどの改善を行っている。

活動の様子

ヤマハイノベーションロードへの外出支援



ハロウィンパーティー



【 12 】 地域活動支援センター「オルゴール」

【根拠法令等:障害者総合支援法第77条第1項、浜松市地域活動支援センターⅡ型事業実施要綱】

定員	所定配置基準	直接処遇職員	事業所管理者	計
15	要綱による	3(3)	0.5(兼務)	3.5(3.5)

※()は常勤換算

項 目		単位	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度計画	令和元年度実績	対前年度比
施設利用状況	実施日数	日	244	243	240	240	98.8%
	契約者数	人	55	52	52	48	92.3%
	延べ人数	人	3,549	3,585	3,600	3,072	85.7%
	1日平均	人	14.5	14.8	15.0	12.8	86.5%
	稼働率	%	97.0	98.4	100.0	85.3	86.8%
利用料金(補助事業等収入)		円	18,464,400	17,695,200	17,748,000	15,257,800	86.2%

○利用者の状況(令和2年3月31日現在)

地域別	浜松市							磐田市			合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区		性別	男		女
	12	12	3	5	1	14	0	1			48	
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上					
	0	4	3	9	8	4	20		21	27		
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分未判定					
	3	4	1	4	4	0	32					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	22	12	3	3	2	0	4	0	3	0	1	0

病気療養等による退所が6名、新規利用者が2名あり、前年度より4名減の契約者数となった。65歳以上の利用者が占める割合が高く、健康状態による欠席が増加したことに加え、祝祭日増による開所日数減や新型コロナウイルスの感染予防のため外部講師による教室活動を2月28日から中止した影響があり、延べ人数3,072人と前年度比85.7%となった。

基礎的事業として、季節ごとにテーマを変えて創作活動に取り組むとともに、共同作品を制作して、友愛のさと作品展や障がい者週間作品展(東区役所)に展示をした。また、機能強化事業として、外部講師によるパソコン、アイパッドやケア体操などの10教室を実施し、利用者の生活能力の向上に取り組んだ。今年度の新たな取り組みとして、自立生活を目指す利用者を対象に、炊事、洗濯、清掃等の生活技術を習得する「自立サポート活動」を始めた。

その他、外出活動として、浜松市美術館の期間展示の鑑賞や近隣のショッピングセンターへ出掛け、自身で買い物をして、昼食をとることで、実生活に繋がる体験を行った。

地域交流としては、市内の小学校との福祉交流会を実施し、小学生とのゲーム大会や質問コーナー等の交流を実施し、福祉を学ぶ機会を提供するとともに、利用者にとっても、子ども達とふれあえる楽しいひと時となった。

活動の様子

障がい者週間作品展(東区役所)



自立サポート活動(調理)



小学生との福祉交流会(笠井小学校)



平成31年4月1日～令和2年3月31日

【 13 】 身体障害者福祉センター

【根拠法令等：身体障害者福祉法第31条】

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比
趣味余暇活動としての講座	開催回数	回	243	237	240	231	97.5%
	延べ人数	人	2,288	1,928	2,653	1,940	100.6%
	1回平均	人	9.4	8.1	11.1	8.4	103.2%
レクリエーションのための 便宜の供与	実施回数	回	37	38	35	21	55.3%
	延べ人数	人	428	385	450	318	82.6%
	1回平均	人	11.6	10.1	12.9	15.1	149.5%

前年度に引き続き、5/1から5/6まで遠鉄百貨店ギャラリー・ロゼにて書道展を開催をした。書道講座生15人が出品し、42点の作品を展示をした。
講座については、2期制を継続し、1期あたりの開催回数を確保することで内容を充実させた。インフルエンザの流行や体調不良等で欠席者があったが、利用延べ人数は、前年度並みであった。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月28日から講座の開催を中止した。

【 14 】 障害者体育館・プール

※ 利用者数には介助者を含みます。

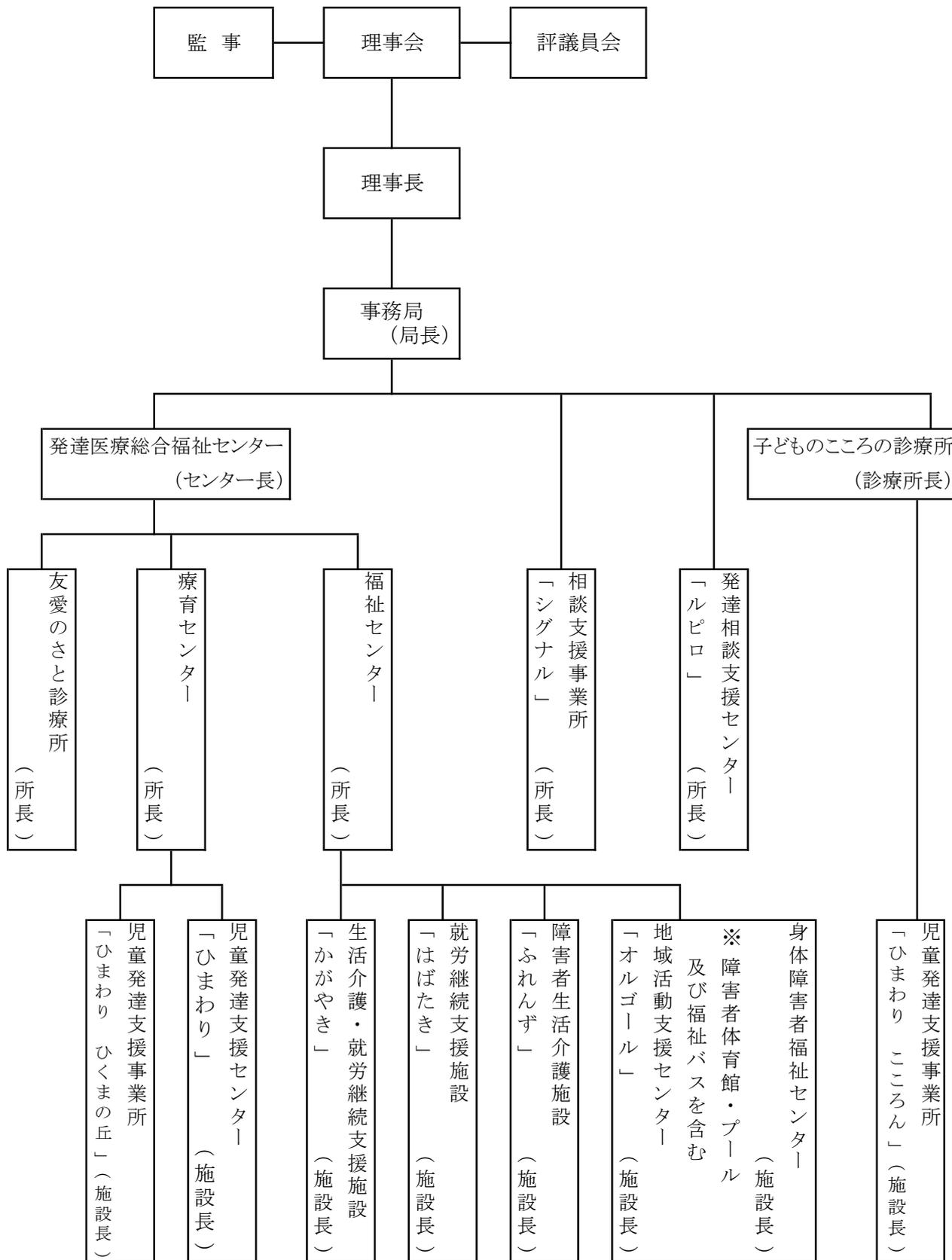
※ 一般開放・団体貸出しは土曜・日曜の利用を含みます。

項 目		単位	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	対前年度比	
体 育 館	センター内利用	利用日数	日	201	184	200	209	113.6%
		延べ人数	人	9,913	8,746	9,900	9,441	107.9%
		1日平均	人	49.3	47.5	49.5	45.2	95.2%
	一般開放	利用日数	日	47	54	50	47	87.0%
		延べ人数	人	168	191	200	133	69.6%
		1日平均	人	3.6	3.5	4.0	2.8	80.0%
	団体貸出	利用日数	日	177	145	200	139	95.9%
		延べ人数	人	6,305	4,364	6,300	3,768	86.3%
		1日平均	人	35.6	30.1	31.5	27.1	90.0%
体育館合計		延べ人数	人	16,386	13,301	16,400	13,342	100.3%
プ ー ル	センター内利用	利用日数	日	151	149	150	131	87.9%
		延べ人数	人	2,915	2,517	2,900	2,771	110.1%
		1日平均	人	19.3	16.9	19.3	21.2	125.4%
	一般開放	利用日数	日	165	158	170	141	89.2%
		延べ人数	人	1,903	1,754	2,000	1,356	77.3%
		1日平均	人	11.5	11.1	11.8	9.6	86.5%
	団体貸出	利用日数	日	117	112	100	116	103.6%
		延べ人数	人	953	759	1,000	835	110.0%
		1日平均	人	8.1	6.8	10.0	7.2	105.9%
プール合計		延べ人数	人	5,771	5,030	5,900	4,962	98.6%

体育館の団体貸出については、1回の利用者人数が半減したことにより延べ人数が減少した。
温水プールは、センターの各施設が前年度と同様に利用し、1回当たり利用者数が増加したことで、延べ人数が増加している。プールの一般開放は、7月から9月の日曜日にも開放をした。7月と9月にプールのトラブルにより合計12日間休館したため、センター内20件、一般開放9件、団体利用3件が利用中止となり、利用者数の減少がみられた。10月からは利用者が減ったため、年間の延べ人数が減少した。
3月は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、体育館・プールの一般開放、団体貸出を中止した。

【15】 法人組織・職員構成

《法人組織》



《職員構成》

(令和2年3月31日現在)

施設等 職種	事務局長	事務局	発達医療総合福祉センター										子どものこころの診療所	ひまわり こころん	計	
			相談支援事業所 シグナル	発達相談支援センター ルピロ	友愛のさと診療所	療育センター	福祉センター					ふれんず				
							ひまわり	ひまわり ひくまの丘	身体障害者福祉センター	地域活動支援センター	かがやき					はばたき
支援員	(1)	6 (1)	12 (4)	2	(5)	2 (9)	1	2 (14)	1 (2)	4 (10)	2 (3)	2 (13)	5 (2)		39 (64)	
医師				4 (10)									3 (6)		7 (16)	
薬剤師																
保健師			1	1 (1)									1		3 (1)	
看護師				4 (3)	2 (1)					1		3	4		14 (4)	
臨床心理士					7 (4)	2 (1)	1 (1)						4 (3)		13 (9)	
診療放射線技師				1											1	
臨床検査技師				1											1	
言語聴覚士					3 (1)								5		8 (1)	
理学療法士				1	4	1							(1)		6 (1)	
作業療法士				(1)	4	1				1					6 (1)	
視能訓練士					1										1	
管理栄養士						1									1	
保育士			5			19 (12)	1 (2)							3 (2)	28 (16)	
計	(1)	6 (1)	18 (4)	2	12 (19)	19 (6)	28 (23)	2 (3)	2 (14)	1 (2)	6 (10)	2 (3)	5 (14)	22 (11)	3 (2)	128 (113)
内数:産休・育休職員			2 (1)			1	4							1	8 (1)	

※ 注1 ()内の数字は非常勤医師、再雇用職員、準職員及び臨時職員の数で外書き。

※ 注2 産休・育休職員、代替臨時職員を含む。

○資格保有者数

社会福祉士		2	11 (1)	1		2	1				(3)		1 (1)	3		21 (5)
精神保健福祉士			2	1							(2)			3		6 (2)
介護福祉士			3					1	1 (2)	1 (2)	1	2 (6)				9 (10)

※ ()内の数字は、再雇用職員、準職員及び臨時職員の数で外書き。

※ 重複資格保有者を含む。